

SSKO 2017. 3. 25
MHN No. 126

町田ヒューマンネットワークゲームス

〒194-0013

東京都町田市原町田2-22-26

プリモ・レガー^{まちだ}町田1F

TEL 042-724-8599 FAX 042-724-7996

URL <http://cil-mhn-enjoy.life.cocacn.jp/>

E-MAIL mhn89@nifty.com



目次

.....	2
.....	4
.....	6
.....	9
.....	11
.....	13
.....	15
.....	16
わたしのおすすめ [16] [17]	17
でかけ隊 10~11月 ^{たい} ^{がつ}	19
事務局 ^{うご} の動き	20
まちカフェ ^{ふくし} 福祉クイズや介助体験 ^{かいじょたいけん} を実施 ^{じっし}	21
イベント ^し お知らせ ^{へんしゅうこうき} 編集後記等	22

**花見？ だよね？
さくらはどこ？
大丈夫！
念ずれば花開くっていうでしょ！
というのは無理でも盛り上
がりました。**



←ハイポーズ

いやあ、食べた食べた→



←お近づき

花？ 私たちで十分でしょ→



🌸 ピア・カウンセリング公開セミナー 🌸

2月の5日日曜日、今年度初のピアカウンセリングの公開セミナーを開催することが出来ました。

毎年2回、公開でのピアカウンセリングセミナーを開催しているのですが、今年度は、夏場の開催が参加者が集まらないために中止、そして今回も、スタッフがインフルエンザに次々と倒れる中、ピアサポの仲間と、健常者スタッフ、急きょリーダーを引き受けて下さったピアカウンセラー、そして、参加者みなさんの協力のもと無事公開セミナーを終わらせることが出来ました。

この場を借りてお礼言申し上げます。ありがとうございました！

今回は、参加者皆さんから頂いた、アンケートのコメントと、ピアカウンセリングを障害当事者として生活に活用している参加者さんの感想をご紹介します。～よしの～

参加者さんからの感想

* 今日参加して良かった。ピアカウンセラーとして自分を取り戻せる自分でしたと感じました。(50代女性)

* 初めて参加させて頂いて自分の感情を大切にしていんだなと思いました。その思いをさせてもらった皆さんに感謝しています。また機会があったら参加したいと思います(30代女性)

* もっともっと話したかったし、聴いて欲しいとおもった。カウンセラーの資格をとっているがクライアントになり得る自分があり、自己をみつめる良い機会になりました。機会があったら、又参加したいと思います。(60代女性)

* 障害を持っていてもいなくても、カウンセリングとして興味を持って講座を受けた人が、ピアカンに合うか、合わないかの比率って関係ないのかもしれないなと思いました。(判りにくいか ^^) (40代女性)

* 年令的に少し疲れましたが色々と有益でした。(80代女性)

* 初めて参加しましたが、感情的にスッキリしました。(40代女性)



*とても、だんだん、たのしくなってきました、もっと話したいと思えた。(40代女性)

*久しぶりに泣ける事が出来ました。自分でもおどろきました。(30代女性)

*肩の力をぬけさせていただき、感情がどこからわいてくるのか考えられる良いキッカケになりました。(頭だと思っていたので)ありがとうございました。(50代女性)

*ピアカンについて興味があり参加しました。お互いに時間を決め話をするというのは、話す方は自分の状況や感情を再認識する作業をしていき、聞き手は相手の話を聞く。話を



聞いてもらえるという安心感が、自分の気持ちと向き合うときにとっても必要なんだと感じました。今回ピアカンセミナーに参加してとても勉強になり、もっと詳しくやってみたいとおもいました。ありがとうございました。(30代女性)

ピアカウンセリングセミナーを受けて

私はこのセミナーを何度か受けてきました。その度に思うのは、「聞く側と言う側両方出来るんだ」ということです。どういうことかという、普通のカウンセリングだと、聞く側は聞くだけのこと。言う側も言うだけのこと。これが一般的なカウンセリング。

ピアカウンセリングは違います。言うては聞き、聞いては言うことを、1人が交代で両方の役ができるので、素晴らしいですね。この魅力に私は取り付かれています。本当に。

後、今回のミニセッションのテーマは「言いたいのになかなか言えなかったこと」でした。

かとうやすえ
～加藤泰恵～

ねん ど だい かい ちょうきこうぜ 2016年度 第24回ピアカウンセリング長期講座

さくねん がつ にち がつ にち まいしゅう
昨年、9月2日～11月25日の毎週
きんようび こんねんど ちょうきこうぜ
金曜日、今年度のピアカウンセリング長期講座
ぜん かい わ かいさい こんかい
を全13回に分けて開催しました。 今回の
こうざ けんしゅうせい めい のうせいまひ めい じょせい
講座は、研修生1名+脳性麻痺の3名の女性
しゅうちゅうこうざ ぎやく じょせい こうざ
と、集中講座とは逆の女性のみ、講座と
なりました。



リーダーは、ゆきちゃん、まきちゃんそして
のぶさん。サブにしゅんた、かずみさん、そし
て、ひさ かつぶりにオーガナイザーとしてわたし
のさんが参加させていただきました。 期間中、

のうせいまひ び あ すで ちょうきこうざ しゅうりょう なかま きちゅう
脳性麻痺のピア (Peer) としてかずみさんや既に長期講座を修了したピアサポの仲間から貴重な
けいけんたん はな いただ かんとうかくち とお なか やす さんか じゅこうしゃ みな つく あ
経験談を話して頂いたり、関東各地より遠い中も休まず参加してくれた、受講者の皆さんと作り上げて
いったぜん かい
全13回でした。

ことし まちだえきしゅうへん いろ かいじょう りょう まいかいさぶ か こうざ
今年は、町田駅周辺の色々な会場を利用したり、毎回サブが換わったりとアクティブな講座でした
がおお ちから か あら かのうせい み こうざ かくしん
が、多くのスタッフの力をお借りして新たな可能性の見た講座になったのではないかと、確信して
います。この場を借りて、講座に関わってくださった介助者の皆さん、町田ヒューマンネットワーク
のスタッフのみなさんそして、ぜん かいとお
の皆さんそして、全13回通してリーダーをやりきってくださいました、ゆきちゃん、スタッ
フのみなみなさま れいもう あ
フの皆さん様に、お礼申し上げます。“ありがとうございました” (よしの)

まちだ 町田ヒューマンネットワークの

ピア・カウンセリング長期講座を終えて。*****

はじめまして。えどがわく じりつせいかつ すてっぶ ひるかわ もう ねん
はじめて、江戸川区にある「自立生活センターSTEPえどがわ」の蛭川と申します。2016年の
がつ がつ ちょうきこうざ けんしゅうせい さんか
9月から11月の長期講座に、リーダー研修生として参加させていただきました。これまで、いくつか
の講座を受けてきましたが、今回ようやく本当の意味でのピア・カウンセリングに出会えたような気が
しました。それくらいまちだ ちょうきこうざ いみ
町田ヒューマンネットワークの長期講座はとても意味のあるものになりました。

おも せいちょう じぶん きず む いみ りかい
思うに、これまでなかなか成長しなかったのは、自分の傷と向きあうことの意味を理解していな
かったからだと思います。「パターンを探す」とはどういうことなんだろう、と、このおくふか
押し殺していた感情のふたを開けたとき、自分はどうなってしまうんだろうと無意識に考えないよう
にする頑張る障害者。私もそうだったことを気づかせてくれたのが、まちだ
のリーダーのめんめん かれ いっしょ あ
面々でした。彼らと一緒にふたを開けてみたい、ディスチャージをしてみようかな、と

おも 思いました。そう おも 思 っ て 振 り 返 れ ば、他 の C I L リーダー たち も 同 じ よ う な ま な ざ し で 私 たち と 接 し て ぐ れ て い た の だ ろ う な と。私 は そ れ に 気 づ い て い ま せ ん で し た が。

と は い え、ま だ ま だ 「そ こ ま で」で す。初 心 者 に 毛 が 生 え た く ら い で す。自 分 の パ タ ー ン を 探 す こ と で 精 一 杯 で、相 手 の パ タ ー ン を 見 つ け ら れ る か ど う か は 「偶 然」で す。「介 入」の タ イ ミ ン グ な ん て、あ と ど れ く ら い セ ッ シ ョ ン を 積 み 重 ね た ら わ か っ て く る の か な あ と 思 い ま す。集 中 講 座 の と き に 感 じ る も の と は 違 う、話 を 聞 く こ と の 難 し さ を 長 期 講 座 で は 感 じ て い ま し た。さ ら に は 長 期 講 座 な ら で は の、ア サ ー テ ィ ブ ・ ト レ ー ニ ン グ や コ ミ ッ ト メ ン ト は 苦 手 な ま ま で す。他 の 項 目 は ま だ 理 解 で き る の で す が、多 分 こ こ に も 自 分 の パ タ ー ン が 関 係 し て い る の か も し れ ま せ ん が、そ れ は こ れ か ら の 課 題 だ と 思 っ て い ま す。

自 分 と 向 き 合 わ ざ る を 得 不 い パ タ ー ン 探 し を さ せ て く れ た、今 回 の 長 期 講 座 は、そ の 後 参 加 し た 「相 談 業 務 を 行 う ピ ア ・ カ ウ ン セ ラ ー 向 け の 研 修」や、そ の 後 の S T E P で の 集 中 講 座 で の サ ブ リ ー ダ ー と し て の 経 験 に も 影 響 し ま し た。講 座 を 受 け て 本 当 に 良 か っ た と 思 っ て い ま す。ゆ き ち ゃ ん、ま き ち ゃ ん、の ぶ さ ん、か ず み さ ん、よ し の ち ゃ ん、し ゅ ん た さ ん 全 員 に 感 謝 感 謝 で す。コ ス モ ス や り え ち ゃ ん、洋 子 ち ゃ ん に 出 会 へ た こ と も。2月 の セ ミ ナ ー で お 会 い で き る の を 楽 し み に し て い ま す！

自 立 生 活 セ ン タ ー S T E P え ど が わ

蛭 川 涼 子 (す ず)

ち ょ う き こ う ざ かん ぞ う 長 期 講 座 の 感 想 * * * * *

9月 2日、頭 が ク ラ ク ラ す る ほ ど の 残 暑 の 中、会 場 ま で の 道 順 も 曖 昧 で 辛 か っ た こ と を 覚 え て い ま す。到 着 し て か ら は、会 場 の 部 屋 に 入 り づ ら か っ た の で す が、若 く て か わ い い 女 性 が 笑 顔 で 迎 え て く れ た の で、安 心 し て 入 れ ま し た。

自 己 紹 介 の 時、緊 張 し て 上 手 に 名 前 を 伝 え ら れ な か っ た で す。そ し て、み ん な の 顔 と 名 前 を 覚 え る の が 大 変 で し た が、だ ん だ ん お 話 を す る う ち に 慣 れ ま し た。

9月 9日 の 「人 間 の 本 質 と 感 情 の 解 放」で は、私 の 中 に い っ ぱ い 感 情 が あ っ た の で、ピ ア カ ウ ン セ ラ ー の 方 に 簡 単 に 心 を 開 い て し ま い、泣 い て し ま い ま し た。

そ し て、9月 16日 は、前 回 何 故 泣 い た の か を 自 分 な り に 考 え て み て、自 分 の 幼 い 時 の 傷 が 原 因 だ と 気 づ き ま し た。な の で 根 本 的 に 治 さ 不 い と 同 じ 傷 を 増 や す こ と に な る と 思 い ま し た。

23日 障 害 を 持 っ て い る こ と と い う こ と に

私 は 実 家 に い た と き、狭 い お 部 屋 に お 前 は 障 害 あ る か ら 隠 す と い わ れ て 悲 し か っ た で す。障 害 は はず か し い の か？ と 悲 し か っ た で す。

ほ に や ら (つ く ば C I L) と 出 会 っ て 自 分 ら し く い き ら れ る の 嬉 し い な と 思 い ま し た。

や り た い こ と が 出 来 る の は、嬉 し い か っ た で す。

旅 を し た り 何 時 も 自 由 に 何 で も 出 来 る の が 嬉 し い で す。

パ タ ー ン に つ い て

わたし ふあん たよ
私のパターンには不安があるとひとに頼ってしまうことがあります。
さび あま わたし
寂しいとかひとに甘えたりしていることが私のパターンです。

デモからロールプレイは

わたし かあ お
私はお母さんから置いてきぼりされたことが、わかりました。

かい
12回でわかったのは

しはい かあ あいじょうぶそく わたし きず
支配とお母さんからの愛情不足なんだなと、私の傷だとわかりました。

ぶんしょう へた
文章が下手ですみません。

そして、ありがとうございます。

おおさとゆきえ
コスモスあんど大里幸枝

健康保険を使った**在宅訪問マッサージ**のごあんない
疾患を問わず手足など筋肉にマヒがある、関節がかたくて動かない・動きづらい方、
医師の同意により健康保険の適応となるマッサージ制度があります。
歩行が困難で、お一人で通院できない方が対象となります。

脳性マヒ 交通事故による頭部外傷 脊髄損傷 筋ジストロフィーなど その他詳細はご相談ください。

- 訪問にかかわる交通費(往療料)も含まれております。
- 医療助成のある方はご負担金なく施術を受けられます。

お問い合わせ・お申し込みは・・・
在宅訪問マッサージ・鍼灸整骨院
(株)スマイルサポート
成瀬本院(整骨院併設)：〒194-0011

<2015年より>
TEL：042-706-8251 (代表)
FAX：042-706-9601
町田市成瀬が丘2-4-4
サンブリッジ成瀬が丘101



福祉機器のトータルプランナー

PAMUK
パムック

〒133-0061
東京都江戸川区篠崎町7-23-5
TEL:03-5666-4801
EMAL:PAMUK@PAMUK.CO.JP



<http://www.pamuk.co.jp/>

たい でかけ隊



1 がつ にち ど
月 28日 (土)

みんなで東京タワーに行きました。スカイツリーが出来てから、あまり注目されなくなっている東京タワーですが、実際に行ってみると外国の方が思ったより多かったです。観光案内のガイドさんに道で声をかけられて近くにあるお寺の説明をしてもらうなど、観光地ならではの場面に遭遇する機会が思ったよりも多かったです。まだまだ観光地なんだと思いました。売店では、東京タワーをモチーフにしたボールペンも売っていて、お土産にはぴったりな物がいろいろありました。天気が良くて移動は楽でしたが、この時期としては暑いくらいで、ジュースやアイスで休憩してから帰りました。帰りは行きよりも電車の時間が長くなってしまって、少し疲れた人もいたかもしれないのでちょっと残念でしたが、みんなで外出することで起こり得ることが

また一つわかったので、発見もありました。(丸山)

2 がつ にち ど
月 25日 (土)

今月のでかけ隊は、町田市内のファミリーレストランで、年間予定を決めました。

お昼をみんなで食べて、みんなで行き先を決めました。

ファミレスということもあってハンバーグを食べた人が多かったですね。美味しかったです。予定は、思った以上にスムーズに進み決めることが出来ました。

これで一年間の行き先が決まりました。(功)



『津久井やまゆり園事件を考える』1.26神奈川集会

やまゆり園入所者それぞれの希望を聞き取り、計画の作り直しを！

1月26日(木)、『津久井やまゆり園事件を考える』1.26 かながわ集会』が神奈川県民活動サポートセンターで開催されました。全国から300人を超える人が集まり、多くのマスコミも注目する集会となりました。その理由とは、次ページのアピール文にもある次のようなことでした。

神奈川県は入所者の家族と施設を運営する法人から出された「おなじところに、おなじ大きさのあたらしい施設を建て直してほしい」という意見を取り入れて、計画を進めようとしていました。1月10日に、公聴会が開かれたのですが、公聴会はそれで終わりとし、出された意見に対する回答もしないとの県の姿勢が示されました。

集会は黙とうに始まり、3人の方から今後の障害福祉のあり方について話がされました。

河東田博さん

大熊由紀子さん

山田優さん

つづく

(李)



1月26日(木)に神奈川県民活動サポートセンターで開催された「津久井やまゆり園事件を考える」1.26 かながわ集会に川上と李が参加しました。

内容は犠牲者となられた19名の方への黙とうから始まり、前半1時間が識者2名による講演、後半2時間が参加者を含めた連帯アピール、散会後は代表団による神奈川県への要望という流れでした。何と言っても会場のキャパをはるかに上回る参加者の数と熱気は凄いものがあり、この事件に対する障害当事者の関心の高さや怒りの強さを改めて認識、同じ障害当事者として強く共感をしました。

ただ一方で冷静な自身が存在していて、被疑者の責任能力の問題(2月末頃に責任能力有りの判定が出ました)や重度な知的障害がある人に対する支援のあり方の難しさを感じる事が多くあり、特に後者に関連し「本当に施設全廃は可能なのか?」と思います。実際、この集会の前に神奈川県がやまゆり園の家族会に行ったヒアリングでは「施設存続を!」の声が大勢だったように集会との温度差は大きく、この事実を受け止めながら町田ヒューマンネットワークはCILとして何処を目指していくのかを考えて行動を起こしていく必要があると思っています。(川上)

しゅうかいとうじつ けつぎ

ぶん つく

とうじつかながわけんちょうまえ

集会当日に決議されたアピール文で作られたチラシ。当日神奈川県庁前でまきました。

『津久井やまゆり園事件を考える』 1.26神奈川集会 アピール

障害のある人19名の命がうばわれ、27名が傷つけられた津久井やまゆり園の事件から6ヶ月がたちました。神奈川県は、入所している人の家族と、運営をになっている法人からだされた「おなじところに、おなじ大きさのあたらしい施設を建てなおしてほしい」という意見をとりいれて、その計画をすすめています。

県は、その計画について、1月10日に公聴会(意見を聞く会)をおこないました。県の建てなおし計画では、入所している人たちの希望をていねいにきくことをおこなっていません。この会では、そのことについて多くの団体から意見がだされました。ところが、1月10日の県の説明では、公聴会は今回だけで、多くの団体からだされた意見にも「回答しない」とのことでした。私たちは、意見を聞くために開かれた公聴会でだされた意見について、きちんと検討し、計画に生かしていただきたいと思えます。

私たちは、津久井やまゆり園で犠牲となった人たちの思いを今後を生かしていくためにも、入所者ひとりひとりの希望をていねいにきき、これから何をすべきなのかを検討する必要があると考えます。

事件をおこした元職員は「障害者なんていなくなればいい」と考えていました。障害のある人をおとっている人とし、おとった人はいなくていいという考え(優生思想)です。なぜ、「障害者なんていなくなればいい」と思うようになったのでしょうか。衆議院議長にあてた手紙には「保護者の疲れ切った表情、施設で働いている職員の生気の欠けた瞳・・・」「車イスに一生縛られている気の毒な利用者も多く存在し、保護者が絶縁状態にあることも珍しくありません。私の目標は重複障害者の方が・・・保護者の同意を得て安楽死できる世界です。」「障害者を殺すことは不幸を最大まで抑えることができます。」と書かれています。

元職員は、障害の重い人が暮らせるように社会を変えなければならないと考えるのではなく、「障害があることが不幸をつくりだしているので、障害者をなくそう」と考えたのではないのでしょうか。

このようなまちがった考えをもつようになったのは、障害の重い人たちが地域で暮らしつづけることができず、家族もつかれきってしまい、入所施設にはいるしかなかった現実があったからです。この現実、今もなくなっています。

私たちは、障害の重い人たちが入所施設をでて、生き生きと地域の中で暮らせる神奈川県をつくることこそが必要であると考えます。それがとりもなおさず、事件をおこした元職員の考え方やおこなった行為が、まちがいであったことを明らかにすることなのです。

神奈川県内さまざまな地域から、やまゆり園に入所しなければならなかった方々にたいして、神奈川県全域の各自治体、事業所など、みんなで力をあわせて、入所している人たちひとりひとりが、暮らしたいと思う地域で暮らしていけるようにすることを、めざさなければならないと考えます。

入所者それぞれが希望する生活を実現するために、やまゆり園の入所者の希望をていねいにききとり、計画をつくることを、私たちは神奈川県にもとめます。

神奈川県はやまゆり園の事件のあと、「ともに生きる社会かながわ憲章」をつくりました。その中には「だれもがその人らしく暮らすことのできる地域社会の実現」が掲げられています。

「障害のある人たちとともに生きる」神奈川県をつくるために、ここに集まるすべての関係者、この集会に賛同した多くの人たちが、それぞれの立場で、いっしょうけんめいに努力することを、ここに誓います。

2017年1月26日

集会参加者・賛同者一同

J I L 関東ブロックの集い～相模原殺傷事件の思いを語る～に参加

丸山 真紀子

2016年7月29日におきた、相模原での障害者殺傷事件を追悼しての集会に参加しました。事件から半年余りが経ち、施設の建て直しなども検討されている中で、改めて事件を見つめ直すきっかけになりました。まず神経筋疾患ネットワークからの声明文(右下)が出され、その後、前半ではグループに分かれてこの事件についての各自の思いを出し合いました。それぞれが感じていることを分類すると、共感する部分や人の意見によって気付かされるところもあり、自分の思いを深めたり考え直したりす

相模原市障害者殺傷事件への声明文
2016年7月29日 神経筋疾患ネットワーク 代表 見形信子

2016年7月26日未明に相模原市の障害者施設「津久井やまゆり園」で起きた障害者殺傷事件によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、負傷された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、同施設に現在もなお入居中の皆さんが心に負った傷を想像すると、つらくて冷静ではいられないと思います。私たちが「神経筋疾患ネットワーク」は、着床前診断・出生前診断に反対する当事者団体です。私たちは今回の事件を知り、強い怒りと恐怖を感じています。そして、今こそ、私たちの意志をしっかりと表明しておく必要があると考えました。今回の事件がなぜ起きたのかについて、TVや新聞、ネット等で様々な議論がなされています。その多くは、容疑者がいかに異常で残忍であるか、特殊な思想の持ち主であるかを語りあげています。しかし、今回の事件を彼の特殊性の問題として片付けてしまう態度にこそ、この事件の本質があるのではないのでしょうか。そもそも、彼の言う「障害者はいなくなれば良い」という思想は、今の社会で、想像もできない荒唐無稽なものになり得ているのでしょうか。現実には、胎児に障害があるとわかたら中絶を選ぶ率が90パーセントを超える社会です。障害があることが理由で、学校や会社やお店や公共交通機関など、至る場所で存在することを拒まれる社会です。重度の障害をもてば、尊厳を持って生きることは許されず、尊厳を持って死ぬことだけを許可する法律が作られようとしている社会です。そんな社会の中で生きる彼が、「障害者はいなくなれば良い」という差別思想に陥ったのは、ある意味、不思議ではありません。彼のやったことは、まったく肯定できるどころがありませんが、彼の思想を特殊だと切り捨てている限り、同じことが起こり続けるのではないのでしょうか。このような事件を二度と起こさない方法は、彼を異常者と認定して納得するのではなく、「障害者はいなくなれば良い」という思想が本当に荒唐無稽に思える社会を創ることのみです。そのためには、障害者が生まれてくることも地域社会で当たり前に暮らすことも阻害されない社会を実現させることが、本当の問題解決ではないのでしょうか。

TVでは、「弱者を狙うのはひどい」という言葉が繰り返されました。今回の事件は、たまたま殺した相手が障害者だったのではありません。障害者だから殺したのです。障害者だから殺しても構わないと思っただけです。社会全体が、障害者を「弱者」と決めつけ、ただ守られるだけの力弱い価値の小さい存在であるような印象を作りあげていることが、障害者の命を軽蔑するものとして扱われ、殺戮に至る思考をひきおこさせたとはいえないでしょうか。

また、今回の犠牲者の方々の実名は報道されませんでした。その結果、亡くなった方々は、19名という集団としてくられた形になってしまったように思います。本当は、名前があり、一人一人、かけがえのない大切な時間が有り、積み重ねてきた歴史があり、人とのつながりがあったはずですが、それが、犠牲者19名とだけ表現されることにより、その存在が消されたように思えてなりません。遺族の希望と報道されていましたが、遺族全員がそう望んだのか、また、ほかのどの事件の場合にも、遺族の希望を聞いて名前の公表を決めているのか、疑問が残ります。ここにも障害者を、人格をもつ一人の市民として見てほしい思想が見え隠れします。

「介助職の負担を軽減させることが大事だ」という話に多くの時間を割いていたTV番組もありました。私は障害を持っていて、1日24時間の介助が必要です。限られた人だけで介助を背負うことがいかに大変なことか、身を持って知っています。だからこそ、多くの人が介助に関わる状況を作っていくことが大切なのです。介助制度の足りなさ、施設職員の少なさを放置しておいて、その不足を障害者の責任にすりかえるのは、もうやめてほしいです。簡単に「施設職員は大変な仕事だ」と語ることが、実は、介助の供給不足の責任をすべて障害者におしつけ、命を差し出すことを強要しているのだとの認識が必要です。

そして、今回の事件が集合施設で行われたことも見過ごせません。今回、1箇所にくさんの障害者が集められていたからこそ、大量殺人につながったのは疑いようのない事実です。もし、それぞれの人が、一人ずつ介助者をつけて自分の家で暮らしていたら、このような大量殺戮は成立しなかったでしょう。また、地域で重度の重複障害の人たちが楽しく暮らすことができていたら、誰も「障害者だから不幸」などの決めつけをしなかったかもしれません。

最後に、今回の容疑者が精神病院に措置入院させられ、退院後にこの事件を起こしたことを理由に、措置入院の制度の判断基準が下げられるのではないかとということが懸念されます。しかし、措置入院そのものが人権侵害の要素を強く持っていることを忘れてはなりません。彼が精神疾患であったかどうかはわかりませんが、精神疾患を持つ人が、その人の治療のためではなく、社会の安全のために本人の意志を無視して安易に病院に拘束されるのだとしたら、それはあってはならないことです。重度心身障害者と精神障害者が関わられる必要はないのです。どちらも権利を侵害されているのです。必要なのは、障害への認識が変わることと、両者への質的、量的に十分な支援体制です。

私たち「神経筋疾患ネットワーク」は、今回の事件を重く受け止め、私たちの活動を止めることなく推進していかなければならないと、決意しました。これからさらに、「要らない命はない」という私たちのメッセージを多くの人に広めていきます。同時に、どんなに重度の障害をもっている人も、幸せに暮らすことができることを、自らの生活を人生を見せることで、社会に発信していくつもりです。

そのためにも、専門家や著名なコメンテーターの意見だけではなく、障害を持ちながら地域の中で実際に暮らしている障害者の声をもっと取り上げられることを強く望みます。

※文字が小さくてすみません。ネットで団体名を入れるとすぐ探せます。(編集担当)

ることができました。この事件のことは考えなければいけないと思いながら、なかなか人と議論できていませんでした。また、テーマが深刻なので気軽に話すにはためらいがあったので、良い機会になりました。

後半は、関心のあるテーマを選び、集まった人で意見を出し合っただけのもの、グループ

ごとに発表しました。テーマになっていたのは、

「脱施設化と地域移行」「知的障害者の自立支援」「優生思想への取り組み」「相模原事件への

取り組み」「親や家族への働きかけ」「精神障害者に対する偏見に対しての取り組み」など

でした。その中で私は「親や家族への働きかけ」についてのテーマを選びました。この事件では被害者の家族の思いが取り上げられることが

ほとんどなく、事件直後から容疑者のことばかりが語られています。しかし、家族を施設に入れ

ることを決めた時や、失った時に何も感じなかった人はいないと思います。地域で生活を始める

時の家族への働きかけについて考え、自分がその立場になった時を想像して考えることが

できました。最後に参加者で『19の軌跡』を歌いました。限られた時間で参加したこと

でいろいろなことを考えるきっかけになりました。また、時間は経ってもこの事件のことは忘れてはいけ

ないし、考えさせられることがまだまだたくさんあると改めて感じました。

ちょっとした介助がピンチを救う!

ヘルパー

大募集!!! (男女問わず)

地域で自立生活している障害を持った方をサポートするお仕事です。
ご家族、ご友人へもご紹介ください!
短い時間でもOK! 週1日でもOK! 早朝や夜間働ける方大歓迎!

時給 **1,200円~1,450円**

(介護福祉士資格手当+50円)

研修中(2ヶ月)/1,000円 時間外・深夜割増有(22:00~翌6:00)



勤務地 町田市及び近隣地域

勤務時間 週1日1時間から週40時間まで様々です。
あなたの予定をご相談ください。

資格 **資格がなくてもOK**

無料の資格取得講座もあります。やる気のある方大歓迎!

交通費 上限1,500円まで支給

お問い合わせ ご興味のある方、お気軽にお問い合わせください。マイナビやタウンワークでも随時募集

特定非営利活動法人

町田ヒューマンネットワーク

TEL **042-721-5044**

FAX 042-724-7996 (担当:鈴木)

〒194-0013 東京都町田市原町田2-22-26 プリモ・レガーロ町田1F ヘルパーステーション・マイライフ

じむきょく うご
事務局の動き ねん がつ にち ねん がつ にち
 2016年12月16日～2016年3月15日

しゅさいこうざなど
【主催講座等】

- ・親サポートオンゴーイング月1回開催
- ・でかけ隊開催 毎月第4土曜日
- ・ほっとカフェM毎月第3土曜日(基本)開催
- ・重度訪問介護従業者養成研修【随時】
- ・ピアサポートグループ(ピア・カウンセリング受講修了者継続クラス)1回/月
- ・ハンドブック委員会月1回開催
- ・TIL運営会議毎月1回開催(堤出席)

12月

- 12月16日(金) JILピア・カウンセリング委員会主催 スカイブ広場関東 松原・川上(参加)
 ILPリーダーズ 於 八王子 川上(担当)
- 12月19日(月)～21日(水) JIL全国セミナー 於 福岡 吉野・秋元(参加)
- 12月20日(火) 利用者交流会・第10回介助者勉強会「利用者介助者座談会」
 於 せりがや会館 川上(担当) 堤・丸山(参加)
- 12月21日(水) 忘年会 於 ペダラーダ
- 12月27日(火) フォーラム実行委員会 於 コメット会館 堤(出席)
- 12月28日(水) 仕事納め・納会

1月

- 1月4日(水) 仕事始め
- 1月5日(木)～1月6日(金) 東京都相談支援従事者初任者研修 於 練馬 丸山・吉野(受講)
- 1月6日(金) 東京都相談支援従事者初任者研修 於 練馬 堤(講師)
- 1月10日(火)、1月12日(木)
 東京都相談支援従事者初任者研修 於 代々木 丸山・吉野(受講)
- 1月12日(木) 地域連携会議 於 コメット会館 堤(出席)
- 1月13日(金) とともに生きるためのサポートプログラム 於 せりがや会館他
 ～2月17日(金)迄 福島・松原・梶田(担当)
- 1月16日(月) 労働災害再発防止講習 於 町田地方合同庁舎 檜垣(担当)
- 1月17日(火) 親プロオンゴーイング新年会 於 ア・ラ・カンパーニュ 福島・堤(担当)
- 1月18日(水) 津久井やまゆり園問題を考えるJIL関東ブロック集会
 於 戸山サンライズ 堤・斎藤・丸山・吉野・鈴木(参加)
- 1月23日(月)～24日(火) 東京都相談支援従事者初任者研修演習 於 茗荷谷
 李(ファシリテーター) 吉野(受講)
- 1月24日(火) 町田市相談支援部会 於 市役所 堤(出席)
- 1月25日(水) 新年会 於 事務局

- 1月26日(木) 「津久井やまゆり園事件を考える」1.26 かながわ集会
於 神奈川県民活動サポートセンター 川上・李 (参加)
- 1月27日(土) I L Pリーダーズ 於 江戸川 谷川 (参加)
T I L運営会議 於 八王子 堤 (出席)
外国人雇用講習会 於 町田地方合同庁舎 田中優・田中かつ子 (担当)
- 1月30日(月) 東京都相談支援研修検討会 於 飯田橋 堤 (出席)
- 1月31日(火) 第11回介助者勉強会 「自分の人権を確認しながら障害者差別解消法を考える」 於 事務所 李 (講師)

2月

- 2月 2日(木) I L Pリーダーズ 於 国立 川上・齊藤 (担当)
- 2月 5日(日) ピア・カウンセリング公開セミナー 於 ことば 堀内・松原・折笠 (担当)
- 2月 7日(火) ~ 8日(水) 東京都相談支援従事者初任者研修演習 於 八王子 堤 (講師) 丸山 (受講)
- 2月 8日(水) 福祉施設職員研修会 於 町田市民フォーラム 齊藤・松原・大井 (担当)
- 2月10日(金) コメント理事会 於 コメント会館 堤 (出席)
- 2月13日(月) 東京都相談支援研修検討会 於 飯田橋 堤 (出席)
フォーラム実行委員会 於 コメント会館 堤 (出席)
- 2月15日(水) ヤンチョンC I L交流会 於 事務所
- 2月21日(火) 指定介護相談事業所集団説明会 於 健康福祉会館 齊藤・大井・石塚 (担当)
- 2月23日(木) J I Lピア・カウンセリング委員会スカイプ会議 堤 (出席)
- 2月25日(土) 第13回介助者勉強会 「防災について学ぼう」~被災体験を聞く~
於 事務所 川上 (担当) 李・田中優 (参加)
- 2月27日(月) シグナル 於 事務所 齊藤・川上・谷川 (担当)

3月

- 3月 1日(水) T I L総会 於 立川 堤 (出席)
- 3月 9日(木) 地域連携会議 於 コメント会館 堤 (出席)
- 3月10日(金) ピア・カウンセリング講演会 於 品川 堤 (講師) 吉野 (アシスタント)

りやくご 略語	あいえるびー I L P…	じりつせいかつ …自立生活プログラム	てい T I L…	とうきょうとじりつせいかつ …東京都自立生活センター協議会
	じ J I L…	ぜんこくじりつせいかつ …全国自立生活センター協議会	でいーびーあい D P I…	しょうがいしゃ …障害者インターナショナル

こんご おお うご よてい よそう
今後の大きな動き (予定・予想)

ねん
 2017年

とうきょうと しょうがいしゃ きべつ きんし じょうりせい せいてい
 ○東京都で障害者差別禁止条例制定の動き。当事者団体の要望の予定あり。(知事

まえむき はなし
 は前向きという話)

ほうみなお
 ○バリアフリー法見直し

5年前には見直しをされなかったが、国土交通省が今年2月省内にワーキンググループを作り、見直しをする予定だと発表した。

えん こんご うご
 ○やまゆり園の今後をめぐる動き

だいきほしせつ た なお かくほうめん
 大規模施設のまの建て直しに各方面から
 いろん
 異論あり

→ 神奈川県も再検討するとのこと。

会員でカフェの常連・小島レイさんが出演します。
 チケットご希望の方は小島さん(レイさんお母さん)
 (090-4377-4120 又は 042-795-5641) までご連絡下さいとのことです。前売りに限りチケット1枚につき500円引きしていただけるそうです。

キジムナ Kijimuna

ヒトは友の死に涙したとき人になった

作:田中 暢 / 脚本・演出:佐竹 啓之 / 振付・演出:石橋 泰子 / 音楽:Matsunobu

公演日/2017年5月
 20日(土)埼玉会堂大ホール(さいたま市) 開場 17:00 開演 18:00
 21日(日)埼玉会堂大ホール 開場 13:00 開演 14:00
 27日(土)たけしんRSURUホール大ホール(立川市) 開場 13:00 開演 14:00
(全日券は各800円増し)
※18歳以上保育あり(往復乗車券は各500円) 観覧料500円・手話通訳あり

チケット料金(全席自由) 一般2500円 / 高校生・大学生2000円 / 中学生以下・障がい者 1500円
(当日券は各800円増し)

埼玉 × 三多摩憲法ミュージカル

ほっとカフェM おいしいコーヒーとお菓子

まいつきだい とうよび まちだ
 毎月第3土曜日 町田ヒューマン フリースペースにて
 お気持ちのカンパをいただいています。

がつかいさい がつ にち ど じはん
 4月開催 4月15日(土) 14時半より

がつかいさい がつ にち ど じはん
 5月開催 5月20日(土) 14時半より

がつかいさい がつ にち ど じはん
 6月開催 6月17日(土) 14時半より

がつかいさい
 7月開催はお休みします。

【7月28日(土)に暑気払いの予定です】

がつかいさい がつ にち ど じはん
 8月開催 8月19日(土) 14時半より

へんしゅうこうき
編集後記

○

(ニュース担当 李)

発行所 東京都世田谷区祖師谷三ー一七ー〇二
 障害者団体定期刊行物協会 領価百円

じりつせいかつ まちだ
自立生活センター 町田ヒューマンネットワーク

とうきょうと まちだしはらまちだ まちだ
 〒194-0013 東京都町田市原町田2-22-26 プリモ・レガー口町田1F
 TEL 042-724-8599 FAX 042-724-7996

URL <http://cil-mhn-enjoy.life.coocan.jp/> E-MAIL mhn89@nifty.com

しょうがいしゃせいじつしえん
 障害者生活支援センターまちだや TEL 042-724-8616

ヘルパーステーション・マイライフ TEL 042-721-5044

ねんかいひ せいかいじん えん さんじよかいじん えん
 年会費 正会員3000円 賛助会員3600円

かいひふりこみさき かにゆうしやめい とくていひ えいりかつどうほうじん まちだ ゆうびんふりかえこうざ
 会費振込先/加入者名:特定非営利活動法人 町田ヒューマンネットワーク 郵便振替口座:00130-4-539920

げんざい
 (3月15日現在)

せいかいじん めい
 正会員 310名

さんじよかいじん めい
 賛助会員 14名

だんたいかいじん だんたい
 団体会員 10団体